

無機系超低汚染コーティング剤

NIPPE CRYSTA-COAT

ニッペ クリスタコート

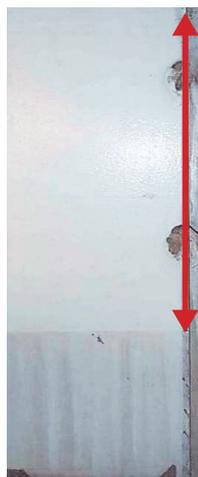
自然の恵み(降雨)を利用して、美観を保つ。

「ニッペ クリスタコート」は、独自の無機技術から生まれた超低汚染コーティング剤です。乾燥直後から超親水性(=超低汚染性)機能を発揮します。

〈特長〉

- 1 当社最高レベルの「超低汚染性」
- 2 すぐれた弾性適性
- 3 ローラー、はけ、スプレーでの施工が可能
- 4 非危険物(水性)1液タイプ

当社最高レベルの超低汚染性



東西南北、暗所でも超低汚染性を発揮します。

〈雨だれ汚染暴露試験-2年経過後-〉

※大阪府の交通量の多い国道沿いで実験。

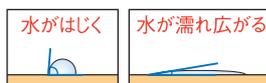
一般水性塗料の塗膜上半分にニッペ クリスタコートを塗装した試験板を屋外に2年間曝露しました。ニッペ クリスタコートを塗装していない部分にはかなりのよごれが付着していますが、塗装面にはほとんどよごれが見られず、超低汚染性を発揮していることがよくわかります。

ニッペ クリスタコート塗装面

※クリスタコートの効果は、汚染程度を低減・遅延するもの(超低汚染機能)であり、汚れを完全に防止するものではありません。

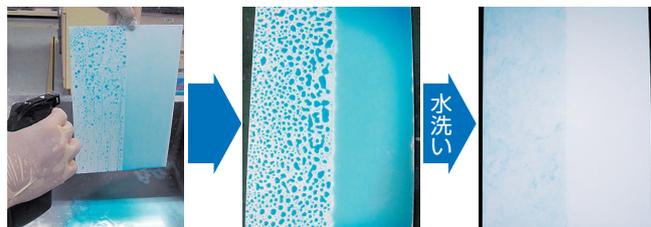
乾燥直後から「超親水性」を発現

乾燥直後から水と馴染みやすくなります。これにより、表面によごれが付着しても、水の方で洗い流すことができます。



〈親水性試験〉

一般水性塗料塗膜の右半分にニッペ クリスタコートを塗装し、乾燥後、霧吹きにて着色水を散布しました。ニッペ クリスタコート塗装面は着色水が濡れ広がり、水と馴染んでいることがわかります。また水洗いにより、着色水による汚れも洗い流しやすくなっています。

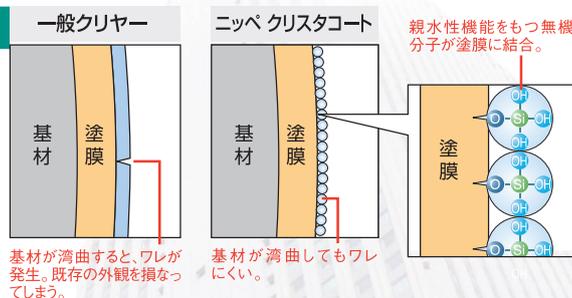


ニッペ クリスタコート塗装面

ニッペ クリスタコート塗装面

ニッペ クリスタコートのメカニズム

塗膜表面に親水性基(-OH)をもった無機分子が並んで定着します。それらが独立して塗膜表面に結合するため、ニッペクリスタコートのワレによる外観の変化や親水性機能の低下を招く心配が少なく、塗り替え直後の美しい外観を長く保つことができます。



基材が湾曲すると、ワレが発生。既存の外観を損なってしまう。

基材が湾曲してもワレにくい。

親水性機能をもつ無機分子が塗膜に結合。

組み合わせ上塗り例

系統	製品名
超高耐候低汚染水性2液形無機塗料	アブラウド シェラスター-NEO
1液水性反応硬化形フッ素樹脂塗料	オーデフレッシュF100III
1液水性反応硬化形シリコン系塗料	オーデフレッシュSi100III
セラミック・シリコン樹脂系意匠塗材	インディアートCERA

塗装基準

商品名	容量	色相	希釈剤	使用量*
ニッペ クリスタコート	8kg	無色透明	無希釈	0.04~0.20kg/m ² /回

※上塗り材とニッペ クリスタコートの塗装間隔は必ず16時間以上あけてください。

*一般水性塗膜上…0.04~0.08 Kg/m²/回
砂壁など凹凸、吸い込みの大きい面…0.08~0.20Kg/m²/回

乾燥時間

	5~10℃	23℃	30℃
指触乾燥	3時間以上	2時間以上	1時間以上

施工上のポイント

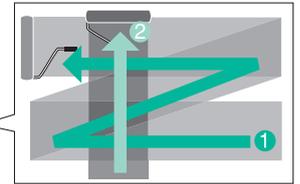
ニッペ クリスタコートは、継ぎ目を気にすることなく塗ることができる、扱いやすいコーティング剤です。しかし、塗り忘れを防止するために、下記施工方法にて施工することを推奨します。

塗り忘れ防止策

塗装は、目地、足場板などで区切って行い、休憩などで塗装を中断する場合には、テープなどで目印をつけてください。

塗り方

低粘度のため、横に配るように塗り広げた後、下から上に拾いながらのぼしてください。



施工上の注意事項

※詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください

- 液だれしやすいため養生をしっかりと行ってください。また、ローラー塗装する場合には、ローラーをよくしごいで塗装してください。
- 濃彩色の上には、つやむらが発生するので塗装しないでください。
- ニッペ クリスタコートを塗装すると、塗装前と比較して僅かに光沢が低下する傾向にあるので、下地の形状などにより、むらとして目立つ場合があります。特に平滑仕上げ面では短毛ローラーなどを使用して、できるだけ均一に塗装してください。(平滑仕上げ面の推奨塗具:短毛ローラー、のり刷毛、エアースプレー、低圧スプレー)
- 各種上塗りの上に塗り重ねる場合には、上塗り塗装後、必ず16時間以上あけてください。塗り重ね時間が短くと仕上がりが不良、性能低下などの原因になります。
- 塗り忘れ部分には、よごれが発生する可能性があります。塗装は、目地、面、足場板などで区切って行い、休憩などで塗装を中断する場合には、テープなどで目印をつけてください。
- 研磨、高圧洗浄など物理的に負担をかけた場合、性能を発揮しなくなるおそれがあります。
- クリスタコートの超低汚染効果は、水のみで汚れを洗い流すものですので、雨がかりや散水のない場所では効果を発揮しません。
- 構造上、常時水が流れて新たな汚れ物質が運ばれてくる場所や、シーリング剤からの可塑剤の流出が多い場合など、汚れの負荷が大きい場合には、十分な効果を発揮できない可能性があります。また錆汁汚染、鳥糞などに対しては効果を発揮しません。
- 本品は水性のコーティング剤ですが、アルコールを含んでいるため若干のアルコール臭がします。
- 被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。

- 素地の乾燥は十分に行ってください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗料の取り扱いは、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビ/珪藻土/塩ビ/ミネート、プラスチック、ゴム/パッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装は避けてください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

安全衛生上の注意事項 (ニッペ クリスタコート)

横倒禁止

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書を入力してください。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
- 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。- 禁煙です。
- 容器を密閉しておいてください。
- 容器を接地/アースをとってください。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
- 火花を発生させない工具を使用してください。
- 静電気放電に対する予防措置を講じてください。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。
- 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないでください。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。
- 気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けてください。
- 口をすすいでください。
- 容器からこぼれたときには、砂などを散布した後処理してください。
- 皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱いでください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。
- 吸入した場合:気分が悪いときは、医師に連絡してください。
- 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用してい

- 容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
- 21.ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受けてください。
 - 22.眼の刺激が続く場合は:医師の診断/手当を受けてください。
 - 23.火災の場合:消火に適切な手段を使用してください。
 - 24.施設して保管してください。
 - 25.換気の良い場所で保管してください。涼しいところにおいてください。
 - 26.直射日光や水濡れは厳禁です。
 - 27.塗料などの缶の積み重ねは3段までとしてください。
 - 28.日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にばく露しないでください。
 - 29.容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げるときには、適切かつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
 - 30.内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
 - 31.塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときには、産業廃棄物として処理してください。
 - 32.容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示と異なる場合があります。

□詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

□本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険

危険有害性情報



- ・引火性液体および蒸気
- ・強い眼刺激
- ・遺伝性疾患のおそれ
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- ・臓器の障害のおそれ(単回ばく露)
- ・長期にわたるまたは反復ばく露による臓器の障害

■詳しい情報はホームページで <http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html>

- 本カタログの内容については、予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2018 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.

日本ペイント 建物

検索

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101	近畿支店 ☎06-6455-9608
東北支店 ☎022-232-6712	中国支店 ☎082-281-2180
関東支店 ☎03-5479-3614	四国支店 ☎0877-56-2346
北関東信越支店 ☎03-5479-3614	九州支店 ☎092-751-9861
中部支店 ☎052-461-1960	

●このカタログは再生紙を使用しています。

●日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-W082

MX180805T

2018年8月現在